

政策シート

政策名

03 環境に配慮した資源循環型社会の構築

予算費目名

01 一般廃棄物対策費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野

04 環境・エネルギー

理想の姿 (30年後)	◆豊かな自然に恵まれ、環境への負荷を抑えたエネルギーに対する不安のない暮らしや企業活動が送られている。
政策の柱 (10年後)	◆ごみの減量や資源化、自然環境の保全に取り組み、環境負荷の少ないライフスタイルが定着している。 ◆再生可能エネルギー等が広く導入されるとともに、建物などのエネルギーの最適利用が進み、エネルギー自給率が高まっている。

基本政策

01 環境と共生した持続可能な社会の実現

(2) 政策の概要(当年度(2024年度)実施内容)

- 一般廃棄物を適正に処理し、美しい環境の保全、再生につなげていく。
- 資源循環型都市の構築を目指し、ごみの減量目標を市民と共有し達成するため、既存事業に加え「ごみ減量キャンペーン」等の実施や企業等との連携を図り、ごみの減量と3Rの取り組みを推進するとともに、家庭ごみ有料化実施の検討を進める。
- 事業系ごみの不当排出抑制の強化を図り、ごみの減量や資源化を推進する。
- 市民と連携してごみの減量を推進するため、環境美化推進員等を対象に研修会の開催を行う。
- 大規模災害に備え、速やかに災害廃棄物への対応ができるよう研修やマニュアルの整備を進める。

(3) 関連するSDGsのゴール

⑫生産・消費									

2 政策コストの状況(千円)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	1,092,546	1,135,004	1,223,612	1,252,506	1,331,185	1,564,948
決算	1,056,656	1,098,915	1,178,332	1,232,157	1,284,190	1,533,857
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	183,500	183,500	198,900	208,700	217,100	219,900
年間経費(決算+A+B)	1,240,156	1,282,415	1,377,232	1,440,857	1,501,290	1,753,757

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
ごみ総排出量 ※一般廃棄物処理基本計画「ごみ処理基本計画編(改定版)」目標値	t	目標	—	—	—	214,146	210,219	206,352
		実績	221,879	214,378	210,948	207,308	197,552	192,292
資源化率 ※一般廃棄物処理基本計画「ごみ処理基本計画編(改定版)」目標値	%	目標	—	—	—	27.8	28.2	28.6
		実績	23.5	24.7	27.3	28.2	26.9	28.9

4 当年度(2024年度)政策評価

(1) 当年度(2024年度)実施内容

- 生ごみの減量のため、堆肥化容器の無料配布や生ごみ処理機の購入費補助を行った。
- 資源物のリサイクルの推進のため、市の施設で古紙古着等の資源物を回収し、資源物集団回収団体に対して協力金を交付した。雑がみの啓発のため、雑がみ分別袋を作成し、園・学校、商業施設等で配布した。また、木製家具のリサイクル等の実証事業を行い、効果を検証した。
- ごみ減量教育の推進のため、小学生へ「こどもモッタイナイ大作戦」の実施、社会科副読本の配付を行った。
- ごみ減量の啓発のため、自治会や学校等で出前講座等を実施した。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗>	計画通り
以下の事業により、ごみの減量・資源化を進めたが、今後の事業展開を見据えた実証事業の実施により効果や課題の検証が必要である。また、企業や関連団体との連携も求められる。	
・生ごみの減量のため、堆肥化容器の無料配布や生ごみ処理機の購入費補助を行った。	
・資源物のリサイクルの推進のため、市の施設で古紙古着等の資源物を回収し、資源物集団回収団体に対して協力金を交付した。雑がみの啓発のため、雑がみ分別袋を作成し、園・学校、商業施設等で配布した。	
・ごみ減量教育の推進のため、小学生へ「こどもモッタイナイ大作戦」の実施、社会科副読本の配付を行った。	
・Instagramを活用したキャンペーンを実施し、インセンティブを付与することで若者を中心とした幅広い世代にごみ減量の啓発や実践を促した。	
・令和6年2月議会での改正条例可決をふまえ、ごみの排出量が減少傾向にある。ごみ減量目標値の市民との共有を進めるとともに、市民と協働したごみ減量・資源循環を推進する。	

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	(新規)資源循環推進事業	○	○		182,756	148,724	7.5			2.0	
2	事業系一般廃棄物対策事業	－	－		21,843	2,985	2.2	1.0			
3	収集業務管理事業	－	－		245,136	196,435	6.9			2.0	
4	北部収集窓口センター事業	－	－		1,251,849	1,208,122	6.0			1.0	
5	一般廃棄物許可収集運搬支援事業(交付金)	－	－	○							
6	災害廃棄物処理事業	－	－	○							
7	一般廃棄物対策デジタル運営経費	－	－		3,774	3,114	0.1				
8	一般廃棄物対策運営経費	－	－		48,399	5,568	6.2				
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計					1,753,757	1,564,948	28.9	1.0		5.0	

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート

(事業名) 01 (新規)資源循環推進事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

市民との協働により、家庭から排出されるごみの資源循環及び減量施策を推進し、持続可能な資源循環型社会の構築を目指す。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1980	-	一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	○	(施策)	Ⅲ-5(2)ウ					

(4) 関連するSDGsのゴール

⑫生産・消費								
事業とゴールの 関連性	資源循環推進事業を推進し、資源保護や地球環境保全の促進及び循環型社会の形成を図る。							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	126,437	120,192	121,198	119,841	131,273	148,724
	決算	109,806	103,288	95,783	108,676	114,608	124,656
	国・県支出	1,445	1,748	2,070	1,187	1,363	1,044
	市債						
	その他	45,000	44,000	16,000		10,000	100
	一般財源	63,361	57,540	77,713	107,489	103,245	123,512
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		36,820	36,120	36,120	37,520	37,520	58,100
人工	正規	4.9	4.8	4.8	5.0	5.0	7.5
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	2.0
年間経費(決算+A+B)		146,626	139,408	131,903	146,196	152,128	182,756

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
ごみの総排出量(t) ※資源物を含む		目標	248,724	246,378	244,733	243,071	-	-
		実績	253,821	243,046	238,417	234,034	-	-
ごみ総排出量(t) ※一般廃棄物処理基本計画「ごみ処理基本計画編(改定版)」目標値、 資源物を含まない		目標	-	-	-	214,146	210,219	206,352
		実績	221,879	214,378	210,948	207,308	197,552	192,292
資源化率(%) ※一般廃棄物処理基本計画「ごみ処理基本計画編(改定版)」目標値		目標	-	-	-	27.8	28.2	28.6
		実績	23.5	24.7	27.3	28.3	26.9	28.9
一人1日あたりの家庭ごみ排出量(g)		目標	-	-	-	479.0	466.5	454.0
		実績	495.0	503.6	492.4	484.9	455.8	446.2
学校連携事業 参加児童数(%)		目標	45	48	50	52	53	55
		実績	41.11	33.76	37.66	40.61	39.63	38.24

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	04	01	03	01	001505000	01	一般廃棄物対策課	鈴木 秀幸	2025.7.1

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

家庭から排出されるもえるごみの多くを占める「生ごみ」「紙ごみ」の減量を推進し、一人1日当たりの家庭系ごみ排出量454.0g/人・日を目指した。

- ・生ごみの減量として、生ごみ堆肥化容器の無料配付を継続し、生ごみ処理機購入費の補助金の予算を拡充して推進を図った。
- ・資源物のリサイクルの推進として、市施設での資源物回収や、資源物集団回収団体への協力金交付、市・民間の資源物拠点回収の情報を浜松市地図情報サイトやGoogleマイマップへの掲載を行った。
- ・雑がみの周知のため、雑がみ分別袋の配付を行った。
- ・企業雑がみ回収実証事業として、市内企業が職員用の雑がみ回収カートを設置し、雑がみの回収方法及び回収量を検証した。
- ・ごみ減量推進運営経費で実証事業として行った木製家具のリサイクルを事業化した。
- ・ごみ減量教育として、小学校での「こどもモットイナイズ大作戦」の実施や、小学4年生に社会科副読本を配付した。
- ・Instagramを活用して市民にごみ減量に取り組んだ様子を投稿してもらい、抽選で景品を贈呈するキャンペーンを実施した。
- ・事業者と連携したごみ減量推進として、「脱プラスチック推進協力事業者」や「食品ロス削減協力店」登録制度を継続した。
- ・ごみ減量の啓発として、自治会や学校等でごみ減量に関する出前講座等の開催などの啓発活動を行った。
- ・環境美化推進員区会議及び研修会等を開催して、環境美化推進員や自治会と連携してごみ減量啓発を実施した。
- ・2024年1月からごみ減量目標の共有と減量の啓発を行う「GO!みんなで404チャレンジ」を実施し、イベントを開催した。
- ・生活環境改善活動団体及び功労者に対する表彰制度に基づき、優良な団体及び個人に対して表彰を行った。

5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

- ・生ごみを減量するため、生ごみ堆肥化容器を1,206世帯へ配付、生ごみ処理機購入補助金を276世帯に交付した。
- ・資源物のリサイクルを推進するため、市施設での資源物回収や、資源物集団回収団体への協力金交付、市・民間の資源物拠点回収の情報を浜松市地図情報サイトやGoogleマイマップへ掲載した。また、雑がみの周知のため、園・学校・自治会等向けの雑がみ分別袋を52,400枚配布するとともに、企業向けの雑がみ分別袋を市内小売店舗等で97,600枚配布した。
- ・企業雑がみ回収実証事業として、市内34社が職員用の雑がみ回収カートを設置し、雑がみの回収方法及び回収量を検証した。
- ・ごみ減量教育として、食事の食べきり、雑がみ・プラごみ集めに取り組む「こどもモットイナイズ大作戦」を実施し、15,291人が参加した。小学4年生全員に社会科副読本を配付した。園・学校8か所へコンポストを配付し、こどもたちが給食の生ごみ等を使った堆肥作りを通して循環型社会を体験した。体験の様子等環境部Instagramで積極的に発信した。
- ・Instagramを活用して市民にごみ減量に取り組んだ様子を投稿してもらい、抽選で景品が当たるキャンペーンを実施した。118アカウントから計400件の投稿があり、109名に景品を贈呈した。
- ・事業者と連携したごみ減量推進の登録制度として、2024年度末時点で累計「脱プラスチック推進協力事業者」21社、「食品ロス削減協力店」380店の登録があった。
- ・自治会や学校等で出前講座を25回実施した。
- ・環境美化の推進や地域でのごみ減量の推進のため、環境美化推進員を対象に会議を開催した。(会議:8会場・参加者659人)
- ・「Go! みんなで404チャレンジ」の啓発イベントとして「ごみ減量チャレンジDay～みんなでサステナブルの!?～」を開催した。(参加者:325人)
- ・生活環境改善活動団体及び功労者を表彰した。(R6受賞者:2団体・13個人)

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

・令和6年2月議会で条例改正を行った。ごみの排出量は減少傾向にあるが、ごみ減量目標値の市民との共有を進めるとともに、市民と協働したごみ減量・資源循環をより一層推進する必要がある。

6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・生ごみ堆肥化容器の配付数は前年度から引き続き増加している。
- ・資源物拠点回収の情報を既存の浜松市地図情報サイトに加え、利便性向上のためGoogleマイマップでも新たに公開した。
- ・Instagramを活用したキャンペーンを実施し、インセンティブを付与することで若者を中心とした幅広い世代にごみ減量の啓発や実践を促した。
- ・園・学校にコンポストを配布し、こどもの循環型社会の体験を通して家庭へのごみ減量の推進を図るとともに、SNS等で積極的に発信した。
- ・実証事業として実施していた木製家具のリサイクルが事業化した。
- ・生活環境改善活動団体及び功労者に対する表彰を行った。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・ごみの減量目標と事業の周知のため、「Go! みんなで404チャレンジ」キャンペーンについて広報業務委託を実施するとともに、資源物を分別しやすい環境の整備、民間事業者との連携事業や、SNSなどを活用した周知啓発活動により、資源循環及びごみ減量を推進する。
- ・みどりのリサイクル拠点を継続し、回収量の増加のため周知等に努める一方、費用対効果を勘案しながら設置を検討する必要がある。
- ・令和6年2月議会での改正条例可決をふまえ、家庭ごみ有料化の実施時期については、今後のごみの減量目標の達成・定着状況や社会経済情勢を基に、総合的に判断する必要がある。
- ・既存の食品ロス削減協力店、脱プラスチック推進事業者を統合し、「はままつ循環経済パートナーズ制度事業」を開始し、循環経済に携わる幅広い事業者が連携できるプラットフォームを開設する。

事業シート

(事業名) 02 事業系一般廃棄物対策事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

- ・事業系一般廃棄物の適正処理・減量資源化に向けた取組を行う。
- ・廃棄物処理法に基づく一般廃棄物処理業許可事務等を実行する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1987	—	一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	—	(施策)						

(4) 関連するSDGsのゴール

⑫生産・消費								
事業とゴールの 関連性	・不当排出抑制のための集積所パトロールなどを通じて、集積所に不当排出される事業系ごみの適正処理について直接周知する。 ・大規模建築物所有事業者向けに計画書の提出及び立入検査などを実施し、事業系一般廃棄物の適正処理・減量資源化について指導・周知する。 ・清掃工場で、産業廃棄物や搬入不適物が混入されていないか展開検査を継続実施する。 ・事業系古紙の搬入規制を継続実施する。							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算					4,446	2,985
	決算					4,255	2,843
	国・県支出						
	市債						
	その他					480	70
	一般財源					3,775	2,773
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)						8,800	19,000
人工	正規					1.0	2.2
	再任用(31h)					0.5	1.0
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(決算+A+B)						13,055	21,843

3 事業の指標の状況(2024: 総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
ごみ総排出量(t) ※一般廃棄物処理基本計画「ごみ処理基本計画編(改定版)」目標値		目標	—	—	—	214,146	210,219	206,352
		実績	221,879	214,378	210,948	207,308	197,552	192,292
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

- ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、一般廃棄物処理業の許可及び一般廃棄物再生利用業の指定等に係る事務を行った。
- ・浜松市廃棄物の減量及び資源化並びに適正処理等に関する条例に基づき、大規模建築物所有事業者に対する計画書の提出義務付けや立入検査等の事務を行った。
- ・事業活動に伴って生じた廃棄物の適正処理を図るため、家庭ごみの集積所のパトロールを行った。

5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

- ・一般廃棄物処理業許可事務(更新許可:7件)、一般廃棄物再生利用業指定事務(延長指定:3件)を行った。
- ・大規模建築物から排出される廃棄物の現状把握と減量・資源化・適正処理の意識を高めてもらうため、同所有者に対して関係計画書の提出と管理責任者の選任を求めると同時に、立入検査を実施した。(計画書提出数:397件、立入件数:60件)
- ・事業活動に伴って生じた廃棄物の集積所への排出抑制、当該行為が不当排出に当たることの周知、啓発をするため、家庭ごみの集積所(50か所)をパトロールした。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

社会経済活動が活発化している情勢をふまえ、事業系一般廃棄物への産業廃棄物や搬入不適物の混入などの不当排出防止に係る指導・啓発を継続して行う必要がある。

6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・一般廃棄物処理業許可及び一般廃棄物再生利用業指定等に係る事務及び大規模建築物所有事業者に対する事務を継続する。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・2023年度のDM発送や当年度の集積所パトロールの効果を検証の上、事業系一般廃棄物の減量・適正処理や不当排出防止に関する指導・啓発について引き続き実施していく必要がある。

事業シート (事業名) 03 収集業務管理事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

安全、衛生的な地域環境を維持していくために、環境美化活動を推進する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1974	—	一般会計	自治事務(その他)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

⑪都市	⑫生産・消費								
事業とゴールの 関連性		・大気、水、土壌へ配慮した、ごみ収集運搬を行う。 ・分別された資源物の適正な中間処理により、循環型社会の構築を図る。							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	163,041	200,911	195,500	204,966	265,955	196,435
	決算	146,594	189,381	179,890	200,573	243,690	191,236
	国・県支出					4,600	
	市債						
	その他	65,195	106,505	87,737	98,784	112,554	105,276
	一般財源	81,399	82,876	92,153	101,789	126,536	85,960
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		51,100	51,100	52,500	52,500	60,900	53,900
人工	正規	6.5	6.5	6.7	6.7	7.7	6.9
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	2.0	2.0	2.0	2.0	2.5	2.0
年間経費(決算+A+B)		197,694	240,481	232,390	253,073	304,590	245,136

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
家庭ごみ収集運搬業務委託内容の見直し	—	目標	継続運用	継続運用	継続運用	継続運用	継続運用	継続運用
		実績	継続運用	継続運用	継続運用	継続運用	継続運用	継続運用
連絡ごみ受付センター電話受付応答率	—	目標	90%	90%	90%	90%	90%	90%
		実績	91.8%	89.2%	91.6%	92.9%	96.1%	91.2%
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	04	01	03	01	001505000	03	一般廃棄物対策課	鈴木 浩之	2025.7.1

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

■ごみ集積所適正管理支援事業

ごみ集積所への不当排出、ごみ・資源物の持ち去り行為等に対して、看板の設置やパトロールによる啓発活動を行う。また、不適正排出された一般廃棄物を適正に処理することにより快適な生活環境を保持する。

■路上死亡動物回収事業

住環境を良好に保つため、路上等における犬、猫などの動物の死体を回収する。

■連絡ごみ収集事業

連絡ごみ受付センターの安定した運営並びに処理手数料の確実な徴収・収納を実施し、市民サービスの向上を図る。

LINEのチャットボットを活用した連絡ごみ収集申し込みの受付を行う。

■資源物処理事業

ペットボトルとプラスチック製容器包装を中間処理して、再資源化を行う。

■ごみ収集運搬事業

2024年4月から天竜清掃工場の稼働開始に伴い、安定した家庭ごみ収集運搬体制を維持するため、搬入状況の確認を行い、円滑かつ確実な家庭ごみ収集を実施する。

5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

・天竜清掃工場と西部清掃工場で収集エリアの搬入調整区域の設定を行うなど、安定した家庭ごみ収集運搬体制を維持するため、搬入状況の確認を行い、円滑かつ確実な家庭ごみ収集を実施した。

・電話での申し込みの受付に加え、LINEやインターネットでの申し込みの受付も併用し、連絡ごみ受付センターの安定した運用を行った。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

・安定した家庭ごみ収集運搬体制を維持するため、収集エリアに搬入調整区域を設定し、天竜清掃工場及び西部清掃工場の搬入状況に応じた円滑かつ確実な家庭ごみ収集を実施した。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

・現行の処理体制での収集運搬を確実に行うとともに、適正な入札・契約内容となるよう業務内容を検証・分析し、2027年度からの家庭ごみ収集運搬業務について、複数年の債務負担行為設定を行う。

事業シート (事業名) 04 北部収集窓口センター事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

家庭から排出されるごみを、適正に収集運搬することにより、安全で清潔な生活環境の保全を図る。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1974		一般会計	自治事務(法令義務)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

⑪都市	⑫生産・消費								
事業とゴールの関連性		・大気、水、土壌へ配慮した、ごみ収集運搬を行う。							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	794,305	800,222	894,251	894,427	895,048	1,208,122
	決算	792,739	799,479	893,630	893,656	893,837	1,207,049
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	792,739	799,479	893,630	893,656	893,837	1,207,049
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		49,700	49,700	49,700	45,500	45,500	44,800
人工	正規	7.1	7.1	7.1	6.1	6.1	6.0
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)				1.0	1.0	1.0
年間経費(決算+A+B)		842,439	849,179	943,330	939,156	939,337	1,251,849

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
委託事業所への訪問及び確認(ごみ収集事業)(回以上)		目標	—	4	4	4	4	4
		実績	1	4	4	4	4	4
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	04	01	03	01	001505000	04	一般廃棄物対策課	鈴木 浩之	2025.7.1

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

- ごみ収集事業

 - ・ごみ・資源物の家庭系一般廃棄物収集運搬業務委託(中央区における旧中区、旧東区)の管理を行った。
 - ・ごみ収集運搬業者への適切な指導を行った。
 - ・不法投棄、不当排出廃棄物のパトロール及び処理を行った。
 - ・地域の環境美化活動による廃棄物の収集運搬を行った。
 - ・ごみ集積所に関する相談、手続きを行った。
 - ・ごみの出し方、分別等の相談受付を行った。
 - ・古着、古紙類ほかの資源物回収事業を行った。
 - ・各種啓発活動(出前講座ほか)を行った。
- 北部収集窓口センター管理運営事業

 - ・北部収集窓口センターの管理運営を行った。
 - ・北部収集窓口センターの予算、庶務等に関する一般事務を行った。
 - ・事業所内の清掃、設備点検等による安全な職場環境の形成を進めた。

5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- ・ごみ・資源物の収集運搬業務委託(中区、東区)の管理においては、委託業者に対し指導・監督・調整を行い、大きなトラブルもなく適正な運営がなされた。また、委託業務中に物損事故が数件あったため、事故防止のための研修の開催および安全運転の励行を周知した。
- ・排出者の利便性を考え、ペットボトルおよびカンの回収容器をコンテナからネットへの変更を促した。
- ・その他の事業では、ほぼ2023年度並みの実績が得られた。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目

現状

 小項目 / 事業費

現状

 人工

現状

- ・計画的なパトロールを実施し、不法投棄・不当排出廃棄物の排出量を抑制した。
- ・生活環境の保全上支障が生じないように収集運搬の実施を行った。
- ・事業系廃棄物の不当排出を指導した。
- ・排出違反者への指導を行った。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目

現状

 小項目 / 事業費

現状

 人工

現状

- ・当事業所建物内での古紙古着などの資源物回収については、市民の利便性を考慮し引き続き利用促進を進める。
- ・北部収集窓口センターは、中央区における旧中区・旧東区全体をカバーする拠点として業務を遂行している。今後も、家庭系廃棄物収集運搬業務に関して市民の利便性を維持するため、引き続き当センターを運営していく。

事業シート

(事業名) 05 一般廃棄物許可収集運搬支援事業(交付金)

【完了】

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

原油価格の上昇に直接的な影響を受ける一般廃棄物収集運搬事業者に対し、時限的・緊急的な支援を行うことで、安定的、継続的な一般廃棄物の処理体制を確保することを目的として、一般廃棄物収集運搬事業者支援交付金を予算の範囲内において交付するもの。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2022	2023	一般会計	自治事務(その他)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

⑪都市	⑫生産・消費	⑬海洋資源							
事業とゴールの 関連性			廃棄物処理法に則り、安定的な一般廃棄物の適正処理・減量・資源化に向けた体制を維持していくことは、SDGsゴール11,12,14に関連するものである。						

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算				9,457	9,550	
	決算				8,634	8,422	
	国・県支出					8,100	
	市債						
	その他						
	一般財源				8,634	322	
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)					10,600	8,800	
人工	正規				1.0	1.0	
	再任用(31h)				1.0	0.5	
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(決算+A+B)					19,234	17,222	

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

・安定的、継続的な一般廃棄物の処理体制を確保することを目的として、原油価格の上昇に直接的な影響を受ける一般廃棄物収集運搬許可業者に対し、支援交付金を交付した。

5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

・一般廃棄物収集運搬許可業者(47社/対象:56社)に対し、一般廃棄物収集運搬事業者支援交付金を交付した(8,422千円)。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

燃料・物価高騰の動向など、社会経済状況について注視していく必要がある。

6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の社会経済情勢に注視しつつ、支援については今年度で終了する。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

事業シート

(事業名) 06 災害廃棄物処理事業

【完了】

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

・2023年6月2日豪雨に係る全壊家屋等の解体及び撤去を行う。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2023	2023	一般会計	自治事務(その他)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

①都市									
事業とゴールの 関連性	生活環境保全上及び公衆衛生上の支障の除去並びに二次災害の防止のため公費解体を行う。								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算					2,178	
	決算					2,178	
	国・県支出					1,089	
	市債						
	その他						
	一般財源					1,089	
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)						1,400	
人工	正規					0.2	
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(決算+A+B)						3,578	

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

・災害により倒壊した家屋1件について、「浜松市令和5年6月2日豪雨による災害に係る被災家屋等の解体及び撤去を既に自費で実施した者への費用償還に関する要綱」に基づき自費解体者に対し費用を償還した。

5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

・公費解体の実施(費用償還)により、計画通り、生活環境保全上及び公衆衛生上の支障の除去並びに二次災害を防止した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

・大規模災害時には半壊判定家屋についても公費解体の対象となる場合がある。

6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

2023年度の単年度事業として実施したため、予定通り終了する。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

事業シート (事業名) 07 一般廃棄物対策デジタル運営経費

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

一般廃棄物対策課のデジタル関連事業

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2021	—	一般会計	自治事務(その他)	—

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

⑧成長・雇用 ⑬気候変動									
事業とゴールの 関連性	市民の連絡ごみ処理手数料の支払窓口への移動を削減し、移動時間の削減に伴い移動手段である車から排出されるCO2の削減を図るもの。								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算						3,114
	決算						3,074
	国・県支出						
	市債						
	その他						1,391
	一般財源						1,683
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)							700
人工	正規						0.1
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(決算+A+B)							3,774

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
連絡ごみ収集申込みに占めるLINEの割合 (%)		目標						25%
		実績						19.6%
路上死亡動物通報に占めるLINE通報割合 (%)		目標						25%
		実績						31%
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	04	01	03	01	001505000	07	一般廃棄物対策課	鈴木 浩之	2025.7.1

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

- ・連絡ごみの申込み及び分別品目検索、路上死亡動物に関する通報のLINEでの受付を安定的に実施する。
- ・連絡ごみ処理手数料のオンライン決裁手段を拡充するためのシステム改修等を行う。

5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

- ・連絡ごみの申込み及び分別品目検索、路上死亡動物に関する通報のLINEでの受付を安定的に実施した。
- ・連絡ごみ処理手数料のオンライン決裁手段拡充のためのシステム改修等を行い、2025年4月から運用開始するための準備を行った。
- ・今後もLINEを利用した連絡ごみの申込み等について、積極的に周知し、利用率の向上を図る必要がある。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・連絡ごみの申込み及び分別品目検索、路上死亡動物に関する通報のLINEでの受付を安定的に実施した。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・連絡ごみの申込み及び分別品目検索、路上死亡動物に関する通報のLINEでの受付を安定的に実施する。
- ・LINEを利用した連絡ごみの申込み等について周知し、利用率の向上を図る。

事業シート

(事業名) 08 一般廃棄物対策運営経費

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

・一般廃棄物対策費の業務を円滑に運営する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1987	－	一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	－	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	－	(施策)						

(4) 関連するSDGsのゴール

⑫生産・消費								
事業とゴールの 関連性	・一般廃棄物対策課の運営に必要な経費を執行することで、廃棄物の適正な処理を進める。							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	8,763	13,679	12,663	23,815	22,735	5,568
	決算	7,517	6,767	9,029	20,618	17,200	4,999
	国・県支出				3,269	2,578	
	市債						
	その他	490	160	480	170		
	一般財源	7,027	6,607	8,549	17,179	14,622	4,999
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		45,880	46,580	60,580	62,580	54,180	43,400
人工	正規	6.0	6.1	8.1	8.9	7.7	6.2
	再任用(31h)	1.0	1.0	1.0			
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	
年間経費(決算+A+B)		53,397	53,347	69,609	83,198	71,380	48,399

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

- ・浜松市清掃公社、全国都市清掃会議、大都市清掃事業協議会、静岡県都市清掃協議会等との連絡調整を行った。
- ・令和6年1月1日に発生した能登半島地震の被災地応援として市職員を派遣した。
- ・大規模災害が発災した場合に備え、各種研修や訓練、会議への参加、職員向け研修の実施、関係団体との意見交換を行った。
- ・前年度に民間事業者と締結した連携協定に基づき、使用済紙おむつ資源循環実証事業の実施に向けて、環境省、県との連絡調整を行った。

5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

- ・全国都市清掃会議、大都市清掃事業協議会、静岡県都市清掃協議会開催の各種会議に参加した。
- ・当課所管の外郭団体である浜松市清掃公社の安定的な経営を確認するため、収支状況を把握した。
- ・災害廃棄物処理に係る研修(7回)、情報伝達訓練(2回)、会議(6回)に参加、出席した。
- ・廃棄物処理部職員を対象とした災害廃棄物処理に係る研修会(計1回、184人受講)を開催した。
- ・静岡県産業廃棄物協会西部支部会員と仮置場運営に関して意見交換(計1回、25人)を実施した。
- ・能登半島地震で被災した石川県珠洲市へ市職員を派遣し、公費解体事務の支援を行った。(第1班:2024.4.4~4.10・5人、第2班:2024.4.9~4.15・4人)
- ・2024.12~2025.3の期間で、使用済紙おむつ資源循環実証事業を行った。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

一般廃棄物対策課の一般事務に要する経費をまとめたものであり、現状維持とした。
なお、被災地への市職員派遣は大規模災害を受けて現計予算の中で緊急対応したものであり、翌年度の実施は予定していない。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

一般廃棄物処理事業が円滑に運営できるよう必要な経費を執行する。
2025年度にあつては、隔年で行うこととしている家庭系・事業系ごみの組成調査を実施する。

政策シート

政策名
03 環境に配慮した資源循環型社会の構築

予算費目名
06 平和清掃事業所費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野
04 環境・エネルギー

理想の姿 (30年後)	◆豊かな自然に恵まれ、環境への負荷を抑えたエネルギーに対する不安のない暮らしや企業活動が送られている。
政策の柱 (10年後)	◆ごみの減量や資源化、自然環境の保全に取り組み、環境負荷の少ないライフスタイルが定着している。 ◆再生可能エネルギー等が広く導入されるとともに、建物などのエネルギーの最適利用が進み、エネルギー自給率が高まっている。

基本政策
01 環境と共生した持続可能な社会の実現

(2) 政策の概要(当年度(2024年度)実施内容)

○関連機関と連携を図りながら、一般廃棄物(ごみ)の分別の徹底と減量を推進する。
○平和清掃事業所及び南部清掃センターとの定期的な業務連絡会を開催し連携した業務体制を図る。
○天竜清掃工場の稼働にともない、廃棄物の種別に適した収集車両の配車及び収集作業員のシフトを見直し効率化を図る。
○不法投棄、不当排出対策、集積所の管理など、安全で衛生的な生活環境を維持するため、環境美化活動を推進する。

(3) 関連するSDGsのゴール

⑫生産・消費									
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	940,479	953,493	1,000,252	1,005,742	1,052,506	1,159,802
決算	935,178	945,142	995,256	991,254	1,042,315	1,147,953
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	348,300	351,900	351,100	342,600	326,400	352,800
年間経費(決算+A+B)	1,283,478	1,297,042	1,346,356	1,333,854	1,368,715	1,500,753

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
委託事業所への訪問及び確認(ごみ収集事業)	回以上	目標	—	4	4	4	4	4
		実績	—	4	4	4	4	4
委託事業所への訪問及び確認(資源物処理事業)	回以上	目標	—	4	4	4	4	4
		実績	—	4	4	4	4	4
		目標						
		実績						

4 当年度(2024年度)政策評価

(1) 当年度(2024年度)実施内容

○関連機関と連携を図りながら、一般廃棄物(ごみ)の分別の徹底と減量を推進した。
○不法投棄、不当排出対策、集積所の管理など、安全で衛生的な生活環境を維持するため、環境美化活動を推進した。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗>	計画通り
○受託者とのコミュニケーションのさらなる充実及び受託者、委託者の業務責任者による業務の質が担保されているかどうかの確認を行った上で、課題に対する共通認識を持って委託業務の品質保持に努めた。 ○定期的に不当排出廃棄物のパトロール及び収集運搬を行うことで、地域の環境美化に繋がった。	

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	ごみ収集事業	—	—		1,406,652	1,093,014	39.2	9.5		4.3	
2	資源物処理事業	—	—		52,044	50,644				0.5	
3	南部清掃センター事業	—	—		42,057	16,144	3.8	1.0		0.2	
4	ごみ収集事業	—	—	○							
5	南清掃事業所運営経費(一般諸経費のみ)	—		○							
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計					1,500,753	1,159,802	43.0	10.5		5.0	

※人工単価(千円) 正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート

(事業名) 01 ごみ収集事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

家庭から排出されるごみを適正に収集運搬することにより、安全で清潔な生活環境の保全を図る。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
		一般会計	自治事務(法令義務)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	—	(施策)						

(4) 関連するSDGsのゴール

⑫生産・消費								
事業とゴールの 関連性	廃棄物及び資源物の分別収集を指導徹底することにより、廃棄物の発生を抑制する。							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	551,332	555,711	588,353	595,242	582,767	1,093,014
	決算	551,069	553,493	588,148	584,575	592,688	1,086,012
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般会計繰入金	551,069	553,493	588,148	584,579	592,688	1,086,012
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		106,400	99,400	99,400	99,400	99,400	320,640
人工	正規	15.0	14.0	14.0	14.0	14.0	39.2
	再任用(31h)						9.5
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	4.3
年間経費(決算+A+B)		657,469	652,893	687,548	683,975	692,088	1,406,652

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
委託事業所への訪問及び確認(ごみ収集事業)(回以上)		目標	—	4	4	4	4	4
		実績	—	4	4	4	4	4
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

○家庭系一般廃棄物収集運搬業務委託の管理を行った。(中央区(旧西区・旧北区)、浜名区(旧北区))
○受託者とのコミュニケーションのさらなる充実及び受託者、委託者の業務責任者による業務の質が担保されているかどうかの確認を行った上で、課題に対する共通認識を持って委託業務の品質保持に努めた。
○定期的な不当排出廃棄物のパトロール及び収集運搬を行った。

5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

○各委託事業所を年4回訪問し、受託者の業務責任者との面談を行い課題整理や情報を共有することで業務が適正に行われていることを確認した。
○定期的に不当排出廃棄物のパトロール及び収集運搬を行うことで、地域の環境美化に繋がった。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

○各委託事業所を年4回訪問し、受託者の業務責任者との面談を行い課題整理や情報を共有することで業務が適正に行われていることを確認した。
○定期的に不当排出廃棄物のパトロール及び収集運搬を行うことで、地域の環境美化に繋がった。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

○2024年度から天竜清掃工場の稼働に伴い、運搬に係る負担が増大していることから、廃棄物の種別によって適した収集車両の配車を行うとともに、収集作業員のシフトを見直すことで効率的な運搬を図っていく。
○平和清掃事業所及び南部清掃センターの連携を図るため、定期的な業務連絡会を行っていく。

事業シート

(事業名) 02 資源物処理事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

ごみ減量、資源の有効活用、環境への負荷軽減を推進するため、市民との協働による資源循環型社会の形成に取り組む。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
		一般会計	自治事務(法令義務)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	—	(施策)						

(4) 関連するSDGsのゴール

⑫生産・消費								
事業とゴールの 関連性	資源物の適正処理を行うことにより、天然資源の合理的な利活用につなげる。							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	90,046	95,491	96,788	97,568	97,107	50,644
	決算	90,045	93,416	96,544	97,192	96,627	50,644
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	90,045	93,416	96,544	97,192	96,627	50,644
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400
人工	正規						
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
年間経費(決算+A+B)		91,445	94,816	97,944	98,592	98,027	52,044

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
委託事業所への訪問及び確認(資源物処理事業)(回以上)		目標	—	4	4	4	4	4
		実績	—	4	4	4	4	4
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

- 資源物中間処理業務委託(その1、その2、その3)の管理を行った。中央区(旧中区・旧西区)、浜名区(旧北区))
- 受託者とのコミュニケーションのさらなる充実及び受託者、委託者の業務責任者による業務の質が担保されているかどうかの確認を行った上で、課題に対する共通認識を持って委託業務の品質保持に努めた。
- 定期的な不当排出廃棄物のパトロール及び収集運搬を行った。

5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

- 各委託事業所を年4回訪問し、受託者の業務責任者との面談を行い課題整理や情報を共有することで業務が適正に行われていることを確認した。
- 定期的に不当排出廃棄物のパトロール及び収集運搬を行うことで、地域の環境美化に繋がった。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

- 大項目 小項目 / 事業費 人工
- 各委託事業所を年4回訪問し、受託者の業務責任者との面談を行い課題整理や情報を共有することで業務が適正に行われていることを確認した。
 - 定期的に不当排出廃棄物のパトロール及び収集運搬を行うことで、地域の環境美化に繋がった。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

- 大項目 小項目 / 事業費 人工
- 2024年度から天竜清掃工場の稼働に伴い、運搬に係る負担が増大していることから、廃棄物の種別によって適した収集車両の配車を行うとともに、収集作業員のシフトを見直すことで効率的な運搬を図っていく。
 - 平和清掃事業所及び南部清掃センターの連携を図るため、定期的な業務連絡会を行っていく。

事業シート (事業名) 03 南部清掃センター事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

○家庭から排出されるごみを適正に収集運搬することにより、安全で清潔な生活環境の保全を図る。
○南部清掃センターを運営する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1964年	-	一般会計	自治事務(法令義務)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

⑪都市	⑫生産・消費								
事業とゴールの 関連性		廃棄物及び資源物の分別収集を指導徹底することにより、廃棄物の発生を抑制する。							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算						16,144
	決算						11,297
	国・県支出						
	市債						1,400
	その他						30
	一般財源						9,867
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)							30,760
人工	正規						3.8
	再任用(31h)						1.0
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						0.2
年間経費(決算+A+B)							42,057

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
ごみ収集委託事業所への訪問及び確認(ごみ収集事業)(回以上)		目標						4
		実績						4
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	04	01	03	06	001545000	03	平和清掃事業所	辻村 得雄	2025.7.1

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

○家庭系一般廃棄物収集運搬業務委託の管理を行った。中央区(旧南区)

○受託者とのコミュニケーションのさらなる充実及び受託者、委託者の業務責任者による業務の質が担保されているかどうかの確認を行った上で、課題に対する共通認識を持って委託業務の品質保持に努めた。

○定期的な不当排出廃棄物のパトロール及び収集運搬を行った。

5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

○各委託事業所を年4回訪問し、受託者の業務責任者との面談を行い課題整理や情報を共有することで業務が適正に行われていることを確認した。

○定期的に不当排出廃棄物のパトロール及び収集運搬を行うことで、地域の環境美化に繋がった。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

○各委託事業所を年4回訪問し、受託者の業務責任者との面談を行い課題整理や情報を共有することで業務が適正に行われていることを確認した。

○定期的に不当排出廃棄物のパトロール及び収集運搬を行うことで、地域の環境美化に繋がった。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

○2024年度から天竜清掃工場の稼働に伴い、運搬に係る負担が増大していることから、廃棄物の種別によって適した収集車両の配車を行うとともに、収集作業員のシフトを見直すことで効率的な運搬を図っていく。

○平和清掃事業所及び南部清掃センターの連携を図るため、定期的な業務連絡会を行っていく。

事業シート

(事業名) 04 ごみ収集事業

【完了】

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

家庭から排出されるごみを安全、衛生的に収集運搬を行う。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1964年	-	一般会計	自治事務(法令義務)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	-	(施策)						

(4) 関連するSDGsのゴール

⑪都市	⑫生産・消費							
事業とゴールの 関連性		環境上適正な収集廃棄物の管理を実施する。再生利用可能な収集廃棄物の管理を実施する。						

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	283,723	286,774	299,766	297,323	305,103	
	決算	280,528	284,776	297,029	296,077	290,181	
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	280,528	284,776	297,029	296,077	290,181	
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		195,700	206,300	205,500	197,000	187,800	
人工	正規	23.9	24.9	24.9	23.8	21.8	
	再任用(31h)	4.0	5.0	4.0	3.0	2.0	
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	5.0	5.0	6.0	7.0	10.0	
年間経費(決算+A+B)		476,228	491,076	502,529	493,077	477,981	

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
ごみ収集委託事業所への訪問及び確認(ごみ収集事業)(回以上)		目標	-	4	4	4	4	
		実績	1	4	4	4	4	
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)



5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

事業シート

(事業名) 05 南清掃事業所運営経費(一般諸経費のみ)

【完了】

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等

(3) 事業の位置付け

主要事業		※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性									

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	15,378	15,517	15,345	15,609	67,529	
	決算	13,535	13,457	13,535	13,410	62,819	
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	13,535	13,457	13,535	13,410	62,819	
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		44,800	44,800	44,800	44,800	37,800	
人工	正規	6.0	6.0	6.0	6.0	5.0	
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	
年間経費(決算+A+B)		58,335	58,257	58,335	58,210	100,619	

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)



5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

政策シート

政策名
03 環境に配慮した資源循環型社会の構築

予算費目名
09 天竜清掃事業所費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野
04 環境・エネルギー

理想の姿 (30年後)	◆豊かな自然に恵まれ、環境への負荷を抑えたエネルギーに対する不安のない暮らしや企業活動が送られている。
政策の柱 (10年後)	◆ごみの減量や資源化、自然環境の保全に取り組み、環境負荷の少ないライフスタイルが定着している。 ◆再生可能エネルギー等が広く導入されるとともに、建物などのエネルギーの最適利用が進み、エネルギー自給率が高まっている。

基本政策
01 環境と共生した持続可能な社会の実現

(2) 政策の概要(当年度(2024年度)実施内容)

一般廃棄物処理基本計画により、市内で発生する一般廃棄物(ごみ)の減量、分別を徹底し、衛生的に収集運搬処理する。

(3) 関連するSDGsのゴール

⑪都市	⑫生産・消費								
-----	--------	--	--	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	616,789	618,449	624,753	637,823	533,367	530,812
決算	611,110	615,665	621,294	609,237	629,482	530,759
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	320,460	308,540	307,740	320,440	367,440	366,120
年間経費(決算+A+B)	931,570	924,205	929,034	929,677	910,088	896,879

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
委託事業所への訪問及び確認(ごみ収集事業)	回以上	目標	—	4	4	4	4	4
		実績		4	4	4	4	4
委託事業所への訪問及び確認(資源物処理)	回以上	目標	—	4	4	4	4	4
		実績		4	4	4	4	4
		目標						
		実績						

4 当年度(2024年度)政策評価

(1) 当年度(2024年度)実施内容

一般廃棄物処理基本計画により、市内で発生する一般廃棄物(ごみ)の減量、分別を徹底し、衛生的に収集運搬処理ができた。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗>

計画通り

市内で発生する一般廃棄物(ごみ)の減量、分別を徹底するように指導し、衛生的な収集運搬処理ができた。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	ごみ収集事業	—	—		385,322	197,958	19.2	6.0		6.6	
2	資源物処理事業	—	—		26,158	16,065	1.6				
3	浜北清掃センター事業	—	—		473,920	311,585	21.0	5.0		3.0	
4	天竜清掃事業所運営経費(一般諸経費のみ)	—	—		11,479	5,204	0.8	0.4			
5	ごみ収集事業	—	—	○							
6	資源物処理事業	—	—	○							
7	浜北環境事業所運営経費(一般諸経費のみ)	—	—	○							
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計					896,879	530,812	42.6	11.4		9.6	

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート

(事業名) 01 ごみ収集事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

家庭から排出されるごみを、適正に収集運搬することにより、安全で清潔な生活環境の保全を図る。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1970	—	一般会計	自治事務(法令義務)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	—	(施策)						

(4) 関連するSDGsのゴール

⑪都市	⑫生産・消費							
事業とゴールの関連性		家庭系一般廃棄物収集運搬業務委託の管理を行うとともに、家庭から排出されるごみを安全・衛生的に収集運搬することにより以下のゴールを目指す。 ・廃棄物の管理に特別な注意を払い環境上の悪影響を軽減する。 ・食料の廃棄を半減させ、食品ロスを減少させる。 ・廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。						

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	292,708	288,635	286,440	297,291	197,287	197,958
	決算	290,403	288,220	284,027	280,525	197,287	210,842
	国・県支出						
	市債						
	その他					26,000	68,980
	一般財源	290,403	288,220	284,027	271,291	128,307	210,842
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		127,580	122,080	122,680	129,080	177,980	174,480
人工	正規	13.1	12.2	12.4	12.4	19.3	19.2
	再任用(31h)	8.8	7.0	6.0	7.0	7.4	6.0
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	1.5	4.1	5.1	6.1	5.8	6.6
年間経費(決算+A+B)		417,983	410,300	406,707	409,605	375,267	385,322

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
委託事業所への訪問及び確認(ごみ収集事業)(回以上)		目標		4	4	4	4	4
		実績		4	4	4	4	4
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

- ・家庭系一般廃棄物収集運搬業務委託(天竜区)業務の適切な管理を行った。
- ・天竜区佐久間地区、水窪地区の家庭から排出されるごみを、衛生的かつ適正に収集運搬を行った。
- ・不法投棄、不当排出廃棄物の収集運搬を行った。

5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度 計画通り

- ・家庭系一般廃棄物収集運搬業務委託の受託者に対して、4回訪問調査を行い、仕様書に定められた業務内容について適切に遂行していることを確認した。
- ・天竜区佐久間地区、水窪地区の家庭から排出されるごみを、計画的に収集運搬を行うことができた。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

- 大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状
- ・家庭系一般廃棄物収集運搬業務委託の受託者に対して、定期的に訪問調査を実施し、業務の遂行状況を確認した。
 - ・直営の収集拠点(事務所)移転に伴い、収集エリアまでのルート・時間等の変更に対応した。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

- 大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 拡大
- ・家庭系一般廃棄物収集運搬業務委託の受託者の管理を適正に行う。
 - ・直営収集業務の体制を維持(職員を適正に配置)していく。
 - ・水窪・佐久間地域の実情にあうえあせた分別収集カレンダーの修正

事業シート

(事業名) 02 資源物処理事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

ごみ減量、資源の有効活用、環境への負荷軽減を推進するため、市民との協働による資源循環型社会の形成に取り組む。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2005	—	一般会計	自治事務(法令義務)	容器包装リサイクル法

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	—	(施策)						

(4) 関連するSDGsのゴール

①都市	②生産・消費							
事業とゴールの 関連性		ペットボトルの中間処理業務委託の管理を行い、資源物の再商品化率を上げることで再生利用や再利用ができ、廃棄物の発生を大幅に削減できる。						

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	15,719	17,758	17,789	17,769	16,065	16,065
	決算	15,719	17,716	17,715	17,722	16,065	14,958
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	15,719	17,716	17,715	17,769	16,065	14,958
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		7,000	6,300	4,900	4,900	11,200	11,200
人工	正規	1.0	0.9	0.7	0.7	1.6	1.6
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(決算+A+B)		22,719	24,016	22,615	22,622	27,265	26,158

3 事業の指標の状況(2024: 総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
委託事業所への訪問及び確認(資源物処理)(回以上)		目標	—	4	4	4	4	4
		実績	—	4	4	4	4	4
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

・ペットボトルの資源物中間処理業務委託における受託者施設の訪問調査および適切な指導を行った。

5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

・ペットボトルの中間処理業務委託の受託者に対して、4回訪問調査を行い、仕様書に定められた業務内容について適切に遂行されていることを確認した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工
・ペットボトルの中間処理業務委託の委託業者に対して、定期的に訪問調査を実施し、業務の遂行状況を確認した。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工
・ペットボトルの中間処理業務委託の管理(モニタリング)を適正に行う。

事業シート (事業名) 03 浜北清掃センター事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

家庭から排出されるごみを適正に収集運搬し、安全で清廉な生活環境の保全を図る。
ごみ減量、資源の有用活用、環境への負荷軽減を推進するため、市民との協働による資源循環型社会の形成に取り組む。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1974	—	一般会計	自治事務(法令義務)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、容器包装リサイクル法

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

⑪都市	⑫生産・消費								
事業とゴールの関連性		適正な分別収集、資源物のリサイクル推進等が、廃棄物の発生を減少させ、循環型社会形成に繋がる。							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算						311,585
	決算						300,520
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源						300,520
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)							173,400
人工	正規						21.0
	再任用(31h)						5.0
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						3.0
年間経費(決算+A+B)							473,920

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
受託事業者への訪問及び確認(ごみ収集事業)(回以上)		目標						4
		実績						4
受託事業者への訪問及び確認(資源物処理事業)(回以上)		目標						4
		実績						4
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	04	01	03	09	001549000	03	天竜清掃事業所	座馬 和暁	2025.7.1

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

- ・家庭系一般廃棄物収集運搬業務委託の管理を行った。(旧浜北区)
- ・ペットボトルの資源物中間処理業務委託における受託者施設の訪問調査および適切な指導を行った。
- ・定期的な不当排出廃棄物のパトロール及び収集運搬を行った。
- ・家庭系自己搬入の受入業務を行った。

5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

- ・各委託事業所を年4回訪問し、受託者の業務責任者との面談を行い課題整理や情報を共有することで業務が適正に行われていることを確認した。
- ・定期的に不当排出廃棄物のパトロール及び収集運搬を行うことで、地域の環境美化に繋がった。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- 各委託事業所を年4回訪問し、受託者の業務責任者との面談を行い課題整理や情報を共有することで業務が適正に行われていることを確認した。
- 定期的に不当排出廃棄物のパトロール及び収集運搬を行うことで、地域の環境美化に繋がった。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- 2024年度に稼働開始した天竜清掃工場の搬入ルールに従い、廃棄物の種別によって適した収集車両の配車及び運搬を行うことで効率的な収集運搬業務を遂行していく。

事業シート

(事業名) 04 天竜清掃事業所運営経費(一般諸経費のみ)

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

天竜清掃事業所の業務を円滑に運営していく。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2005	—	一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性									

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算						5,204
	決算						4,439
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源						
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)							7,040
人工	正規						0.8
	再任用(31h)						0.4
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(決算+A+B)							11,479

3 事業の指標の状況(2024: 総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

・予算、庶務等に関する一般的な事務の実施。

・周辺住民との連絡調整の実施。



5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

事業シート

(事業名) 05 ごみ収集事業

【完了】

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

家庭から排出されるごみを、適正に収集運搬することにより、安全で清潔な生活環境の保全を図る。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1974	—	一般会計	自治事務(法令義務)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

⑪都市	⑫生産・消費								
事業とゴールの 関連性		適正なごみ収集、リサイクルの推進等が、廃棄物の発生を減少化させたり、環境上における悪影響の軽減に繋がる。							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	263,818	266,227	270,059	272,067	269,789	
	決算	260,560	263,869	269,229	260,410	279,169	
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	260,560	263,869	269,229	260,410	269,789	
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		126,880	149,360	149,360	154,260	146,060	
人工	正規	17.8	19.0	19.0	19.7	18.7	
	再任用(31h)	0.4	1.9	1.9	1.9	3.9	
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.3	3.4	3.4	3.4	0.4	
年間経費(決算+A+B)		387,440	413,229	418,589	414,670	425,229	

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
浜北区内の家庭系一般廃棄物の内、可燃・不燃ごみの区民一人1日あたりの排出量(g)		目標	420	—	—	—	—	—
		実績	487.8	—	—	—	—	—
受託事業者への訪問及び確認(ごみ収集事業)(回以上)		目標	—	4	4	4	4	—
		実績	—	4	4	4	4	—
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	04	01	03	09	001547000	05	天竜清掃事業所	座馬 和暁	2025.7.1

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

- ・旧浜北区の家庭から排出されるごみの効率的かつ衛生的な収集運搬
- ・不法投棄、集積所への不当排出廃棄物のパトロール及び収集運搬の実施
- ・ごみ集積所の適正管理
- ・ごみ収集運搬委託業務の管理

5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

受託事業者へ年間4回の訪問を実施し、委託契約仕様書に基づく適格な業務が行われていたことを確認した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

市の委託する業務を行う受託事業者を見る市民の目は、市と同様に厳しいものがあるため、言動には十分な注意が必要である。

6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

職員が行っている連絡ごみの回収や排出者が自ら搬入するごみの受入業務、また、不法投棄、集積所への不当排出廃棄物のパトロール、ごみ集積所の管理についても、各々のマニュアルに従い効率的に業務運営を図ることができた。受託業者が実施した収集運搬業務も概ね順調であった。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

職員による直営の業務は、従来どおりマニュアルに沿った適切な業務を継続し、効率的、効果的な作業を心掛ける。収集運搬委託業務については、受託事業者への訪問を重ね、市民の信頼を得られる業務としての一層の定着を図っていく。

事業シート

(事業名) 06 資源物処理事業

【完了】

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

ごみ減量、資源の有効活用、環境への負荷軽減を推進するため、市民との協働による資源循環型社会の形成に取り組む。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1997	—	一般会計	自治事務(法令義務)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

⑪都市	⑫生産・消費								
事業とゴールの 関連性		資源物の再利用事業により廃棄物の発生を削減できる。							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	43,847	44,248	49,561	49,561	49,561	
	決算	43,846	44,245	49,561	49,561	49,560	
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	43,846	44,245	49,561	49,561	49,561	
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		35,200	7,000	7,000	8,400	7,700	
人工	正規	3.2	1.0	1.0	1.2	1.1	
	再任用(31h)	3.4					
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.2					
年間経費(決算+A+B)		79,046	51,245	56,561	57,961	57,260	

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
みどりのリサイクル受入件数 (※2018年～)		目標	5500	—	—	—	—	—
		実績	5113	—	—	—	—	—
受託事業者への訪問及び確認(資源物処理)(回以上)		目標	—	4	4	4	4	—
		実績	—	4	4	4	4	—
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	04	01	03	09	001547000	06	天竜清掃事業所	座馬 和暁	2025.7.1

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

- ・旧浜北区の家庭から排出される資源物の収集運搬
- ・スチール缶、アルミ缶等の売払い
- ・自己搬入される資源物の受入れ
- ・市民への資源物についての啓発
- ・資源物中間処理委託業務の管理

5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

受託事業者へ年間4回の訪問を実施し、委託契約仕様書に基づく適格な業務が行われていたことを確認した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

プラスチック製容器包装ごみのリサイクルには、多くの関心が集まっているため、よりの確な業務処理が求められている。

6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

受託事業者が実施したプラスチック製容器包装、ペットボトルの資源物中間処理業務は、訪問時における確認等においても問題はなく、日本容器包装リサイクル協会の評価も高く順調であった。

また、家庭から排出され回収したスチール缶、アルミ缶量は、前年度より減少した。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

市民には、資源物としての排出啓発を継続し、中間処理委託業務については、受託事業者への訪問を重ね、市民の信頼を得られる業務としての一層の定着を図っていく。

事業シート

(事業名) 07 浜北環境事業所運営経費(一般諸経費のみ)

【完了】

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性									

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	697	1,581	904	1,135	665	
	決算	582	1,615	762	1,019	567	
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	582	1,615	762	1,019	665	
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		23,800	23,800	23,800	23,800	24,500	
人工	正規	3.2	3.2	3.2	3.2	3.3	
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	
年間経費(決算+A+B)		24,382	25,415	24,562	24,819	25,067	

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)



(1)事業の成果と課題

指標の達成度

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

6 事業の見直し (Action)



(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工